

東日本旅客鉄道株式会社

執行役員新潟支社長

小川 治彦 様

柏崎地域の鉄道利便性の向上及び  
利用促進等に向けた要望について

令和4（2022）年9月6日

柏 崎 市 長

櫻井 雅浩

柏崎商工会議所会頭

西川 正男



日頃、地域に密着した鉄道事業を展開していただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、上越・北陸新幹線は本県の基幹路線として、沿線地域や利用圏域の観光振興や経済活動の活性化に大きく寄与しています。そして二つの新幹線をつなぐ在来線についても、沿線住民の移動手段として重要な役割を担っております。

こうした中、柏崎市は従来から首都圏との移動需要が高く、長岡駅での上越新幹線への乗換えについて、接続頻度や乗換え時間の改善による利便性の向上を望む声が市民から多く寄せられています。このため、長岡駅での上越新幹線と信越本線との利便性の高い接続を実現することが、まずは優先事項であると考えております。

また、人口減少時代にありましても、ヒト・モノの輸送を担う交通ネットワークの維持・強化が求められているところであり、新潟県内におきましては、信越本線を軸とする鉄道の確保維持は、県土分断の回避が図られるものであります。

柏崎市ではこれまでも、市民、産業界、行政など地域を挙げて鉄道の利用促進に関して様々な活動を展開してまいりました。今後も、こうした取組について、地元が一丸となって、貴社とも相談しながら一層強力に進めていく所存でございます。

つきましては、柏崎地域の鉄道利便性の向上等に向けた下記の要望事項について、特段の御配意を賜りますようお願い申し上げます。

## 記

- 1 優等列車の維持と利便性の向上
- 2 上越新幹線と信越本線との速達性及び利便性の高い接続の実現
- 3 越後線の活用に向けた地域との連携について
- 4 悪天候時や冬期間において、安全を最優先としつつ、安定的な運行を確保できる環境の整備
- 5 市民の鉄道利用の促進に向けた取組の実施

要望内容の詳細は、別紙に記載しております。

## 1 優等列車の維持と利便性の向上について

地域住民の利便性向上のため、以下のとおり要望いたします。

県内拠点都市間のアクセス性を高めるため、令和4年3月のダイヤ改正時に減便した優等列車においては、繁忙期に臨時増回運行を計画するなどの対応を行うなど、利用促進への取組に努め、ダイヤを回復するようお願いいたします。また、優等列車の減便は、利便性を大きく低下させ、利用者離れの加速が懸念されることから、今後さらに減便することのないようお願いいたします。

## 2 上越新幹線と信越本線との速達性及び利便性の高い接続の実現について

長岡駅における信越本線と上越新幹線との接続性を高め、柏崎・東京間の速達性及び利便性がさらに向上するよう、以下の3点を要望いたします。

- (1) 特急しらゆきと上越新幹線の接続性の向上及び速達性の高い上越新幹線が接続するよう改善をお願いします。

接続の現状	しらゆき2号ーとき301号 41分 しらゆき6号ーとき319号 34分 しらゆき3号ーとき318号 5分 ※短すぎて接続していない しらゆき5号ーとき326号 29分
速達性の現状	速達性が高い（停車駅の少ない）上越新幹線は、ほとんどが特急しらゆきと <u>接続していない</u>

- (2) ビジネスや観光のため、午前10時前後に東京駅へ到着できるよう、柏崎駅発の普通列車1323Mと「とき306号」及び直江津駅発の快速列車3373Mと「とき308号」が接続するダイヤ改正をお願いします。

現行	普通 1323M 柏崎発 6:59 → 長岡着 7:43	接続せず
	とき 306号	長岡発 7:43 → 東京着 9:40
	快速 3373M 柏崎発 7:48 → 長岡着 8:20	6分差で接続せず
	とき 308号	長岡発 8:14 → 東京着 10:04

- (3) 東京方面から柏崎地域への移動については、午前中の接続本数が少なく、9時台に到着する列車がありません。首都圏との流動性を高めるためにも、「とき303号」の長岡駅到着時間に合わせて、接続時間10分程度で運行する普通列車または快速列車の増設をお願いします。あるいは「特急しらゆき2号」と接続可能なダイヤ改正をお願いします。

現行	とき303号 東京発7:04 → 長岡着8:38 接続列車なし
	※特急しらゆき2号(長岡発8:29)以降、普通列車1330M(長岡発9:52)まで1時間以上、列車がありません。

### 3 越後線の活用に向けた地域との連携について

越後線の運行維持に向けて、以下のとおり要望いたします。

越後線のうち柏崎・吉田間は、本年7月に利用者が少ない路線として収支データが公表されましたが、当該路線は、沿線住民の通院・通学・通勤などの生活交通として重要な役割を担っています。今後については、沿線自治体や関係団体等と協議・連携しながら利用促進を図るとともに、運行維持に向けて新たな利用方法の検討を行うようお願いします。

### 4 悪天候時や冬期間において、安全を最優先としつつ、安定的な運行を確保できる環境の整備について

利用者が安心して鉄道を利用できるよう、以下の2点を要望いたします。

- (1) 冬季における遅延・運休は、列車への信頼性を失い、利用者離れの原因となり得ることから、除雪体制の強化や防風柵の設置等、安定運行のための取組を一層強化するようお願いします。また、利用者の多い柏崎・長岡間は折り返し運転への速やかな判断等により、運行の確保をお願いします。
- (2) 安全上やむを得ず遅延・運転見合わせする場合には、様々な媒体を利用した情報発信や自治体及び関係する学校との連絡体制を強化するとともに、早期運行再開のための体制の整備に引き続き取り組むようお願いします。

### 5 市民の鉄道利用の促進に向けた取組の実施について

鉄道の利用促進を図るため、以下のとおり要望いたします。

Suica を広く普及させることで鉄道の利便性の向上及び市民の鉄道利用促進につながるだけでなく、最終的には Suica やモバイル Suica で乗り降りするという合理的な活用へとつながることから、長岡・柏崎間における Suica エリアの拡大をお願いします。